

マルトミです



この一年間の御愛顧
誠に有難うございました。

平成27年ももう間もなく終えようとしています。

今年のできごとといえば、やはり自然災害が多発したことでしょうか。ただそれは今年に限ったことではなく、最近では毎年、かつてないほどの異常気象により... というニュースを聞いているような気がします。もはや異常気象が普通で、当たり前前の穏やかな気候のほうが珍しいという状況になってしまったのかもしれない。

一方で明るい話題に目を転じると、日本では年の後半になって今年もお二人の方がノーベル賞を受賞されたり、ラグビーのワールド・カップ予選で強豪の南アフリカを相手に最後に逆転勝ちという世紀の番狂わせ（本当にとんでもないことだったらしく世界中で絶賛されていました）があったり、フィギュア・スケートでは羽生選手がNHK杯で史上空前の高得点で優勝したりと、日本人であることが誇らしくなるような快挙が続きました。

来る平成28年もこの勢いで良いことが続き、皆様にとってよりよい年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、今後ともマルトミをどうかよろしくお願い致します。

(当社では、現在年賀状による新年のご挨拶はいたしておりません。何卒ご理解のほどお願い致します。)

マルトミカレンダー (12月 ~ 2月) 赤色は休業日

12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2		1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29					
							31													

※正月休業 12月30日~1月4日。冬期間は降雪状況によって休業日でも営業致します(3頁をご覧ください)。



株式会社 マルトミ

上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: info@maru-takada.com

ホームページ www.maru-takada.com

新潟県認定農業機械整備工場(大)・ヤンマー農業機械整備士工場・ホンダ ベスト特約店

除雪機ご使用前の注意点と安全な使い方

今年も雪のシーズンがやって来ました。毎年のことですが、除雪機をお使いになる皆様に、使用前の注意点と、使用時の大事なポイントをそれぞれ3つずつ挙げさせていただきます。

除雪機は、きちんと使用法を守って作業される限り決して怖いものではなく、事故の心配もまずありません。ただし強力な機械ですから、くれぐれもご注意の上、どうか安全にご使用くださるようお願い致します。



Photo: HSS11701

<エンジンをかけるとき>

① 始動前に、エンジンオイルがちゃんと入っていることをお確かめ下さい。

オイルの量が少なかったり汚れていたりすると、大きな故障に結びつく危険があります。

② バッテリーは十分ですか。

バッテリーが不足していると、エンジンがかからなくなったり、雪を飛ばす筒が回転しにくくなったりしますのでご注意ください。そうなった場合は充電が必要です。

③ キャブレターが詰まっていますか。

バッテリーは十分にあるのにエンジンがかからなかったり、かかっても音が波打つようなときはキャブレター(気化器)の詰まりが考えられます。そうなった場合は修理が必要です。

<安全な使い方>

① ハンドルから離れるときは必ずエンジンを止めてください。

基本中の基本です。これさえ守っていただければまず事故は起きず怪我することはありません。

② 雪を掻き込む部分(オーガ)や掻き込んだ雪を飛ばす部分(ブロア)に触れるときは、エンジンを止めて、それらも完全に止まっていることを確認してください。

しばらく惰性で回っている場合もありますので、必ずご確認ください。

③ 熱くなっているマフラーに触れないでください。

とくに小型の除雪機はエンジンのマフラー(排気筒の部分)がむき出しになっている機種が多く、エンジンを止めた後もしばらくは熱い状態になっていますので、手を触れないようご注意ください。

★それから、作業される方の危険とは別に、作業中除雪機の周りや雪を飛ばす方向に人や車などがいないことを充分確認してください。

★もし使用法等について、何か御不明な点などあればご遠慮なくおたずね下さい。

除雪機の点検・修理はおまかせ下さい。

降雪前の点検も、時期中の修理対応も、除雪機のことは何でもお任せ下さい。迅速・丁寧・低料金にてご対応させていただきます。

また部品類も豊富に取り揃え、在庫のない場合でもすぐにお取り寄せできますので、ぜひご利用願います。



除雪機の在庫状況について。

当社では、12月1日現在、ホンダの除雪機については一部の機種を除き在庫しておりますのですぐにお届けが可能です。ヤンマーとヤナセの除雪機については当社の在庫分はほとんど売り切れとなりましたが、メーカーには在庫があるものもございますのでどうかお問合せ願います。

ただ物流の関係で、12月後半になるとメーカー在庫があったとしても年内にはお届けできない場合も出てくると思われまますので、購入をご検討されていましてらぜひお早めにご相談ください。

今年は暖冬との予報もありますが、これまでのこともあってそれを信じている皆様はあまりおられないようです。またもし暖冬だったとしても、もちろん油断はなりません。雪が降っても降らなくてもいつでも安心していただけるよう、どうか早目の御準備をお願い致します。



冬期間の除雪機修理対応について

当社では1ページのカレンダーにもありますように12月30日から1月4日までを正月休業とさせて頂く予定ですが、もし雪が積もって除雪機の稼働が考えられる場合には12月31日～1月2日を除いて臨時営業させて頂きます。その後も冬期間は降雪の状況次第で休日も営業致しますが、それ以外で緊急の御用がおありの場合は携帯番号 090-4709-7489(富取)までご連絡をお願い致します。

お客様訪問

上越市大潟区 丸山千春さん

丸山さんは、大潟町役場、そして市町村合併後は上越市役所に勤められた後、今は退職して、潟町の御自宅で畑を耕したり友人の田んぼを手伝ったりしながら奥様とお二人で楽しく暮らしておられます。

当社からはホンダの除雪機と耕うん機を購入していただいておりますが、どちらも大活躍しているとのことのお話しで大変嬉しく、また有難く思っています。

丸山さんは、実は私(富取)とは高校の同級生で友人です。仕事以外でも趣味の昆虫採集で協力してもらったりしていますが、なんととっても羨ましいのが、自宅の畑の奥が大潟水と森公園の園路に接していることです。もっともそれも当然で、この公園が造られたときに敷地の一部を提供したのだそうです。鵜の池が見渡せる展望台(写真)まで徒歩1分。まるでただできれいに管理してもらえる広大なお庭を持つようなもので、散策するにも最高の環境です。



せっかくだから園路に向けて茶店を開いてはといつも提案していますが、残念ながら乗って来てもらえません。なにしろ県立公園なので、そんな許可が出るのかどうかも考えずに勧めている私も無責任ですが。丸山さん、どうも有難うございました。

最高の蛾 オオミズアオ

夏の夜、郊外の道を車で走っているときにヘッドライトの光の中に飛び込んできたり、明るい街灯の周りをひらひら飛び回ったりしている大きな白い蛾を見たことはありませんか。上越でもふつうに見られるオオミズアオは、なかまのオナガミズアオと共に日本を代表する美しい蛾として知られています。

オオミズアオは標本を見ても美しいものですが、できれば自然の中で、自然な姿を見ることをおすすめします。ハネを開いて静止していると、ふわっとした青白色のハネとその1枚1枚に印された4つの黄色の斑紋、体の上まで通る鮮やかな赤褐色のライン、そして全体のフォルム。人によって評価は変わるかもしれませんが、私にとっては最高の蛾です。こんな素晴らしい生き物を蛾だからということでよく見もせず遠ざけてしまうとしたら、とてももったいないことだと思います。

でも、私もエラそうなことは言えません。小さい頃の思い出は、夜、カブトやクワガタがやって来るお気に入りの灯りの下にいつもこの蛾がいっしょにいて気味が悪かったことですし、学生になって昆虫採集を始めたころは蝶に夢中で他の虫は目に入らず、その後甲虫やいろんな虫に興味を広がってからもなぜか蛾には関心がありませんでした。

オオミズアオが好きになったきっかけは、世界の昆虫の本で見たオオオナガヤマムユ(写真右下。横にあるのはその蛾の銀色の繭)の絵でした。アフリカのマダガスカル島にすむというこの巨大な蛾の姿に感動していろいろ調べてみると、東南アジアにもちょっと小ぶりだけれど同じくらいカッコいいオナガヤマムユ(*Actias maenas*)というのがいて、しかも同じなかまが日本にもいることがわかり、それがオオミズアオ(*Actias aliena*)でした。気がつけば憧れの *Actias* の一員がほんの近くにいたのです。そこで改めて見直したオオミズアオは、熱帯にすむオナガヤマムユなどと比べると色も形もかなり控えめですが、でも決してひけは取らず、いかにも日本的な上品な美しさをもっていました。



その頃からずっと、私は世界の長い尾(尾状突起)を持つヤマムユ類を蒐集しています。アジアを中心に多くの種類がいる *Actias* の他にもいくつかのグループがあって、長い尾を持つヤマムユというのはほぼ世界中で見られます。そしてそれぞれが個性的ですばらしい魅力にあふれています。いくつか写真を載せておきますのでご覧ください。



ところで、きれいな蛾を紹介したついでに、昆虫教室などでよく質問される「蝶と蛾の違い」についても書いておきます。簡単に言ってしまうと、両者に決定的な違いはありません。日本産に限れば触角の形などでちゃんと区別できますが、世界では、ということになるとはっきり分けられないものも出てきますし、実際蝶と蛾を区別していない国もけっこうあるそうです。ですから、もし蝶は好きだけれど蛾は嫌いという方がおられたら、これからは蛾というものはいなくて毛虫も含めてすべて蝶なんだと思えば自然散策がもっと楽しくなるかもしれません。(ミ)